

事務連絡
令和7年8月25日

(公社)
岩手県

獣医師会長 様

公益社団法人 福井県獣医師会
会長 大門 由美子
(公印を省略)

「ペットにもシートベルト」への協力をお願い

福井県獣医師会では、動物と人の健康は一つを指針として、人と動物が共存して生きる社会の実現にむけて、いろいろな活動を行っております。

その一環として、今年度から「ペットにもシートベルト」を提案しております。これは、ペットと一緒にドライブする際は、ペットにもシートベルトを忘れないで着用し、人とペットの安心・安全をめざすものです。

ペットが家族の一員となった現在、車で一緒に移動する機会が増加しています。その際、人はシートベルトが義務化され着用がされていますが、ペットはどうでしょう？

○助手席や後部座席で、自由に遊ばせていないでしょうか？

○ペットを膝の上にのせて、一緒にドライブを楽しんでいませんか？

そんな時、急ブレーキをかけたら、どうなるでしょうか？実際に、急ブレーキでダッシュボードや窓ガラスにぶつかり死亡したり、ケガをして動物病院に搬入されるペットがいます。

運転者、同乗者はシートベルトをしていても、ペットが飛んできたり、運転席にはさまったりしては、安全な運転はできません。

このような事故を防ぐのは、ペットと車で出かけるときは、ペットにもシートベルト（ハーネス）の着用、あるいはキャリー、クレートに入れて一緒にドライブをすることです。

この「ペットにもシートベルト」の意識が、多くの運転を行う方に気づいていただきたく、ポスターを作成いたしました。すでに、福井県内の各市町、各警察署、車販売店様などに本ポスターを送付し掲示をお願いいたしましたが、福井県内だけでなく、この運動が人とペットの安全・安心につながればと思い送付させていただきました。併せて、本ポスターの掲示にご協力いただければ幸いです。

なお、本事案についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒910-0003 福井市松本 3-16-10 福井県職員会館ビル
公益社団法人 福井県獣医師会 事務局長 山崎昭治
Tel 0776-28-1244 Fax 0776-28-1255
Email : fukuijuu@angel.ocn.ne.jp



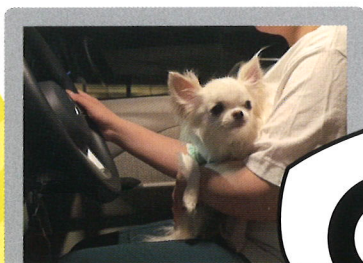
ペットと車 それ、**安全**ですか？

ケージやクレートを嫌がるからといってペットを抱っこや車中自由にしながらの運転は事故に繋がりがやすく、急ブレーキで怪我をしてしまうなどのリスクがあります。車移動の際はケージ・ボックスに入れて、座席に固定してから運転をしましょう。

飼主の膝の上

- ・運転の邪魔をして危ない
- ・もし事故にあったとき、人とハンドルに挟まれてしまう

NG



車中自由

- ・急ブレーキであちこちぶつかる
- ・ペットが窓から身を乗り出してサイドミラーが見えない



正しく安全に

----->
ハーネス（胴輪）を装着し
キャリー・クレートに入れて
シートベルトで座席に固定



活用事例
ドライブ
ボックス



活用事例
シート
ベルト
固定